

農村維持のために、仕事と家をパッケージで準備するべき



(動画時間) 50分



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

町長：一般財団法人 しもかわ地域振興機構と連携し、総合的な移住促進を図っていく

その他の質問事項

▶人材経済交流について

質問

下川町農家の平均年齢、一番若い方の年齢、最高年齢はわかりますか。

産業振興課長

令和6年1月1日

再質問

現在で、平均年齢は65歳、一番若い方は27歳、最高年齢は98歳です。農村部では人口減少が激しく令和3年に町が農家に対して行った調査では、規模縮小したいが2戸、現状維持が57戸、離農したいが8戸です。農村を維持するためには、農プラスチックヨブというべき仕事と家をパッケージで準備提案して総合的な移住促進を図るべきです。

町長

就農を前提とした移住定住に対する住宅のパッケージ化は、農地や住宅の状況、所有者の意向などの要因があり、提案する内容としては制限がある場合も多い。多様化する移住定住の在り方を想定しながら、一般財団法人しもかわ地域振興機構と連携し、総合的な移住促進を図っていきます。

民間活動団体の充実と継続に向けた取り組みを進めては



(動画時間) 25分



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

教育長：支援などを希望する場合や裾野を広げる取り組みには可能な限り協力したい

質問

町内のスポーツ・文化などの活動団体が新規メンバーの獲得や活動を充実させるためにも、活動内容の紹介やお試し体験会の開催などの取り組みを、町としてもっと進めていくべきではありませんか。

教育長

文化協会のポスター、サークル活動や団体を紹介したパンフレットなどを活用し対応しています。お話し体験会などの開催は、支援を希望する場合可能な限り協力したいと考えています。

再質問

公民館大ホールの照明・音響設備が活動に支障をきたすほど老朽化しています。更新の考えは。教育課長 設備改修には多額の費用がかかるため利用状況も考えながら総合計画の審議会などに諮り進めていきます。

再質問

公共施設の利用料金が営利か否かで5倍も違います。様々な活動の活発化につながるよう、料金体系を見直す考えは。

町長

活動の活発化は重要ですが、施設の維持管理を考えると町民に多くの負担が発生する懸念もあり、公共施設全体の再編と併せて、料金も検討し進めていきます。